

実務経験のある教員による授業科目の一覧（2023年度）

	教員名	実務経験	科目名	単位	「実務経験を当該科目の授業にどのような所で生かしてどのような教育を行うのか」（250字程度）	全学共通科目・ 学部等共通科目・ 専門科目
1	池ノ上 真一	特別民間法人	環境科学論	2	「環境科学論」では、教員が従事した文化遺産マネジメントと地域課題解決に関する実務経験を生かし、人を取り巻く環境を科学的に捉える力と地域課題解決に関し現状分析能力を養う。そのために、身近な環境・地域の環境・地球の環境という三つの視点から、それぞれの環境を構成する要素と構成する仕組みの理解を促す。そして、それらが地域の文化遺産と深い関係があることを説明し、そのマネジメント事例をとおして実践的な地域課題解決の構造的な理解を目指すことで、多様な環境に関する現状分析能力を身につけることを期待する。	学部等共通科目
2	佐藤 千歳	報道関係	現代中国論A	2	「現代中国論A」は、圧倒的な多様性を内包しグローバルに展開する中華世界について、自分なりの視点を獲得することを目指す。そのうえで、現代中国を理解し、中華圏出身者により円滑なコミュニケーションが可能になるような知識の習得を目指している。中華世界の形成と発展は、現在の中国共産党政権の歴史観やイデオロギー、政治構造と密接な関係にある。担当教員の佐藤は、北海道新聞社（本社・札幌市）の国際部記者および北京支局長としてアジア・中国報道に従事した実務経験を有する。授業では、中国近代史が現代の中国政治や社会に与える影響や、日中関係に及ぼす影響について、担当教員の中国での取材経験を踏まえながら解説し、履修者が近現代の中華世界をより立体的に捉えられるような授業を展開している。	学部等共通科目
3	佐藤 千歳	報道関係	現代中国論B	2	「現代中国論B」は、現代中国と、中国と関わりの深い中華世界の社会や文化の特色について理解し、中国や台湾、東南アジアの社会と文化について、履修者の関心のあるテーマと関連させながらの理解を目指す授業である。さらに、中国現代史の知識をもとに、安定的な日中関係を築く妨げとなってきた要因を探り、東アジアの将来像について履修者が自分なりの展望を持てるよう指導している。担当教員の佐藤は、北海道新聞社（本社・札幌市）の国際部記者および北京支局長としてアジア・中国報道に従事し、領土主権、少数民族、民主化問題など、現代中国と日中関係の主要な課題を長期的に取材した実務経験を持つ。授業では、こうした取材経験と自身が執筆した論文・記事などを活用しながら、中国を含む中華世界を現代の政治・社会的文脈のなかに位置づけ、履修者の理解を促すような指導を実施している。	学部等共通科目
4	千葉 里美	コンサルタント	観光ビジネス論	2	「観光ビジネス論」では、観光主要産業（運輸交通、旅行、宿泊）だけでなく、教員の実務経験より得た時代の変化や旅行者のニーズに寄り添って変化・進化・発展を果たした国内外の観光関連産業を取り上げ、サービス形態やビジネスモデルについて理解することを目指す。その際、対象とする観光ビジネスを取り巻く外部環境、旅行者志向、対象ビジネスの現状を示し、学生がその事象について立体的に捉えられるような授業を展開する。こうした授業により、未来へ向けた諸課題を踏まえた将来の観光ビジネスを切り拓く創造力を身につけることを期待する。	学部等共通科目
5	山田 勅之	旅行代理店	観光文化論	2	文化的事象が観光の対象となるのは多岐にわたります。すなわち、伝統文化、文化遺産、宗教、料理、工芸品、習俗など極めて幅広いものです。観光学では「観光客のまなざし」、「真正性」、「伝統の創造」といった分析視角を用いて、その実態を明らかにする研究が進められています。本講義では、これらの理論を踏まえながら、旅行会社での勤務時に得たパッケージツアーの企画及び海外添乗業務の経験を加味して、文化遺産や歴史的景観がどのようにして観光によって変容していくのか、そして商品化されていくのか、といった問題について解説していきます。以上から実践的な力を身につけます。	学部等共通科目
6	山田 勅之	旅行代理店	旅行業実務	2	本講義では、パッケージツアーの企画・旅行素材の仕入れ（航空座席、ホテルの部屋など）・見積・パンフレット作成・カウンターでの販売・営業・添乗など、第1種旅行業における一連の業務経験を、実践的実務（見積、チケットの構成、旅行業約款）の解説及び実習に生かします。また、同時に旅行商品の特性、それに伴う旅行会社の業態、及び流通経路の実態とその問題点の指摘、さらにIT化に伴う旅行業界の変容と将来像についても、実務経験を踏まえながら解説していきます。以上から実践力の向上を目指します。	学部等共通科目
7	山田 勅之	旅行代理店	ツーリズム研究	2	観光学では、ツーリズムの特徴や性格に応じて、分類がなされています。その中で割合新しい形態のものとして、エコツーリズム、宗教ツーリズム、エスニックツーリズム、ボランティアツーリズム、ダークツーリズムなどが挙げられます。現在、消費者の多様な価値観を反映して、これらが旅行商品として流通しています。本講義ではこれらがどのように商品化されて、観光客が消費していくのか、先行研究が提示する理論を踏まえながら、パッケージツアーの企画及び海外添乗業務など旅行会社勤務時に得た実務経験と比較しつつ、その実情を解説していきます。以上から実践的な力を身につけます。	学部等共通科目
	合計			14		